

防災会からのお知らせ

6月25日(土)加古川市防災センターにおいて、上級救命講習をグリーンシティ防災会役員5名で受講しました。

心肺蘇生法、止血法、傷病者管理法、副子固定法、熱傷の手当、搬送法の講習を受けました。

救命の連鎖(早い通報、早い応急手当、早い救急処置、早い医療処置)と早期除細動の重要性を理解し、基本的心肺蘇生法(成人、小児、乳児、新生児)を実施するとともにAED(自動体外式除細動器)を正しく安全に使用できるよう訓練を受けました。

AEDとは電気ショックが必要な心臓の状態を判断できる心臓電気ショックの機器です。

心室細動になると心臓がけいれんしポンプとしての役割が果たせず、助かるチャンスは1分経過するごとに約10%ずつ失われ、10分後にはほとんどの人が死に到ります。心室細動の状態のときに、早期に除細動(電気ショック)を加え、心臓全体の勝手な動きを止め、規則正しい収縮に戻すことができると、全体に血液を送り出すことができます。

そこで、AEDの使用が必要となり、素早い除細動は社会復帰の鍵にもなります。

AEDは自動で除細動が必要かどうかを判断し、操作の手順を音声にて指示し救命行為が簡単に出来るように作られています。

今後、加古川グリーンシティでも、AED(Automated External Defibrillator)を配備できるよう早急に考えていきたいと思っております。

AED(自動体外式除細動器)



「救命の連鎖」
(Chain of Survival)